

## <取材のお願い>

2024年1月15日

豊橋技術科学大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

### インドネシアの学生が日本のごみ処理の取り組みを学ぶ ～豊橋技術科学大学の学生と共にプラスチックごみ排出量の削減方法を探る～

豊橋技術科学大学では、1月22日（月）～1月28日（日）、インドネシアのディポネゴロ大学より環境工学科の大学生6名、大学院生3名、教員1名、計10名を招へいし、「日本におけるプラスチック類を含む一般廃棄物の処理体系」をテーマに科学技術体験プログラムを実施します。ディポネゴロ大学はジャワ島にある国内有数の国立大学の一つです。

インドネシアは、世界で2番目にプラスチックごみの環境中への排出量が多い国とされており、早急な改善が望まれています。しかし、国民のごみ排出に対する意識が低く、河川を通じて多量のプラスチックを含むごみが海洋へと流出しています。ごみの収集についてもジャカルタなどの都市部では行われていますが、農村地帯などでは行われていません。また、収集されたごみは埋立地に運搬するだけで、焼却などの減量化が実施されておらず、「ごみの山」として問題になっています。

一方、日本ではプラスチックの消費量は多いものの、プラスチックを含む家庭から排出される一般廃棄物の処理体系が確立しており、環境中へのごみ排出量は少なくなっています。

本プログラムは、日本の家庭から排出される一般廃棄物について、各家庭でのごみの分別、市町村における収集・リサイクル、減容化処理、埋立地における最終処分の方法等を環境工学科に所属する招へい者らが体系的に学ぶことで、インドネシアの廃棄物対策に生かすことを目的としています。特に、プラスチック類を環境中に排出させないための取り組みについて理解を深めます。

具体的には講義のほか、街中のごみステーション、豊橋市のごみ焼却施設、プラスチックリサイクルセンター、廃棄物最終処分場と衣浦港3号地廃棄物最終処分場（知多郡武豊町）を訪問し、ごみの処理・処分方法について学びます。さらに、インドネシアにおける廃棄物対策やプラスチックごみ排出量の削減方法について、招へい者らと本学の学生が議論し、成果発表会で発表します。

ディポネゴロ大学環境工学科の学生は、卒業後に地方公務員として働く方が多く、本プログラムを通じて廃棄物処理についての理解を深めることで、インドネシア国内における地方自治体での一般廃棄物の管理施策に貢献できると考えます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」\*に採択されたものです。

\*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プロ

ogramでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、招へい者と本学の学生が議論をする様子、ごみ焼却施設や廃棄物最終処分場を見学する様子、成果発表会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の井上隆信教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

**【実施内容】** ●日本とインドネシアにおける環境問題の紹介 ●講義：日本における家庭から排出される廃棄物の処理・処分方法 ●両大学学生による議論：インドネシアにおける環境問題の改善に向けて ●見学：ごみ焼却場、廃棄物最終処分場等 ●成果発表会 ●意見交換会 ●マイクロプラスチックの分析

**【実施場所】** 豊橋技術科学大学、衣浦港3号地廃棄物最終処分場、ごみ焼却施設、プラスチックリサイクルセンター、廃棄物最終処分場（豊橋市）

**【研修日程概要】**

1月22日(月)	午前：来日 午後：オリエンテーション（豊橋技術科学大学）
1月23日(火)	午前：本学学生による研究紹介と日本における環境問題の紹介（豊橋技術科学大学） 午後：日本における家庭から排出される廃棄物の処理・処分方法に関する講義（同上）
1月24日(水)	午前：招へい学生によるインドネシアにおける環境問題の紹介と改善に向けて両国の学生による議論（豊橋技術科学大学） 午後：豊橋市のごみ焼却施設、プラスチックリサイクルセンター、廃棄物最終処分場見学
1月25日(木)	終日：衣浦港3号地廃棄物最終処分場の見学
1月26日(金)	午前：インドネシアにおける今後の家庭から排出される廃棄物管理方法について、両国の学生による議論（豊橋技術科学大学） 午後：成果発表会、意見交換会（同上）
1月27日(土)	午前：マイクロプラスチックの前処理と電子顕微鏡と FTIR（フーリエ変換赤外分光法）による分析（豊橋技術科学大学） 午後：中部国際空港へ移動
1月28日(日)	離日

-----  
■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

豊橋技術科学大学

電話：0532-44-6551 Eメール：[ryugaku@office.tut.ac.jp](mailto:ryugaku@office.tut.ac.jp)（担当：丸山）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

電話：03-5214-8288 Eメール：[ssp.press@jst.go.jp](mailto:ssp.press@jst.go.jp)（担当：田中(禎)、太田）